

<福島県教育長賞>

## 学んで変わった税への思い

大玉村立大玉中学校 3年 高橋 ころろ

私の父は、警察官だ。税金からお給料を頂いている。以前、父が交通違反の人を取り締まった時、

「この、税金泥棒が！！」

と罵声を浴びせられたことがあると聞いたことがある。当時幼かった私は、自分の父への同情で「ひどいね」とか「お父さんかわいそう」という思いだけしかなかったが、税金について学んだ今、「その発言は間違っている」と自信を持って伝えることができる。

先日、社会の授業で税金について学んだ。私がこれまで知っていた税金といえば、消費税くらいだったが、固定資産税や所得税、住民税や自動車税等たくさんの種類の税があり、それらが私たちが健康で豊かに暮らせるように使われているということを知った。

私たちの生活や安全を守るための費用である、警察・消防費。もし、これらがなかったら、火災や事件、事故が起きた時や、交通取り締まり等ひとつひとつに料金が発生し、その都度支払いをしなくてはならないのだ。税金がどのように使われているのか、なぜ必要なのか、そのことについて学習した時、私は税金は大切でありがたい、と思った。

税金からお給料を頂いている父も、納税者の一人だ。警察官が事故や事件が起きないようにするために取り締まるのは、人々が安心して安全に暮らせるために必要なことで、自分の違反を指摘された腹いせに、警察官に怒りをぶついたり、「税金泥棒」と騒ぎ立てるのは、おかしい。夜遅くまで働く父をそばで見ている私は、そういう人こそ、もっと税について学び、反省すべきだと思う。

昨年、消費税が八パーセントから十パーセントに上がった。父は、「当然だ。」と言

っていたが、私は正直「嫌だな。」と思った。しかし、豊かな暮らしは税のおかげであり、また、私が払った消費税も誰かのために、何かのために役立っている、そう思ったら、父の「当然だ。」という発言に私も同情できる。

税があるから、学校で授業を受けることができる。税があるから、整備された道路を使うことができる。今、世の中がコロナ禍で大変だが、そのためにも税が役立っている。

将来私も、自分で今より多くの税を支払うことになる。その時に、「嫌だな。」とか「払いたくない。」と思う大人になりたくない。税の使い道が分かったからこそ、「税のおかげで私は安心・安全に、健康で豊かな暮らしができるんだ。」そう感謝し、快く納税できる大人になりたい。